

さいたまけんせいむれんらくきょうぎかい
埼玉県税務連絡協議会
会長賞

いま かんしや みらい つな
今に感謝し未来に繋ぐ

はにゆうしりつみなみちゆうがっこう
羽生市立南中学校

さんねん
三年 福田 彩陽

しんぶん ひろ
新聞を広げても、テレビをつけても、インターネットを開いて
も「値上げ」の言葉ばかりが並んでいます。買い物に行ったとき
母が「高いな」と口にしていたのを耳にしました。野菜だけでは
なく、乳製品に小麦粉類、ソーセイジなどの加工食品も対象
です。そして、今年の秋冬にも再度値上げする食品があるとニ
ユースで知りました。私は四人兄弟です。しかも食べ盛りなの
で食費が大変かかります。時々、家庭菜園をしているお友達から
野菜のおすそわけを頂くことがあります。採れたて新鮮で最高
に美味しいです。そして母は私達を空腹にさせまいと苦勞して
いると思います。

さて、食品の値上げの影響は家庭だけではありません。私
達が学校で食べている給食ももちろん対象です。給食費が
あがるのか、量が減るのかと大変関心がありました。いや、不安
と言った方が正しいかも知れません。その中、教育委員会から
保護者宛へ一通の手紙が配られました。「学校給食における
保護者負担軽減について」との表題です。物価高騰に対する
経済的負担軽減として、給食費の値上げはせず、市が負担する
しかも二か月分を無償化としますと明記されています。私の
心配が吹き飛びました。でも、その負担金はどこから補填される
のでしょうか。疑問に思い、市のホームページを検索したところ
「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」と言う
聞いたことのないワードが出てきました。早速調べてみると、
内閣府で閣議決定された交付金で、コロナ対応の為に地方公共
団体が自由に使うことができるそうです。項目を確認すると
「生活・暮らしへの支援」「エネルギー価格高騰への対応」とあ
ります。私の住む市は、私達の給食費に使うことにしてくれ
たと知りました。先の手紙に「今後、安心、安全で栄養バラ
ンスの良い学校給食の提供に努めてまいります」と書かれて
います。市役所の方が私達のことを考えてくれたと思うと
感謝しかありません。

その交付金こうふきんももちろん税金ぜいきんです。税金ぜいきんについて勉強べんきょうして三年さんねんになりますなりますが、難しいむずかことばかりでよく分かりません。けれど、今回の件けんを通して分わかったことがあります。税金ぜいきんを払はらうことで、万まんが一いちの事態じたいに十分じゅうぶんの対策たいさくが出来るできということです。私わたしはコロナウイルス感染かんせん拡大かくだい後ご、様々さまざまな支援しえんに助けたすられました。それは、単たんに棚たなからぼた餅もちではありません。しつかり納税のうぜいしてくれていいる方かたがいることことで、私達わたしたちの生活せいかつは成なり立たっています。そのことことに感謝かんしゃしなければなりません。

この税ぜいの作文さくぶんを書かくようにななった中ちゅう学がく生せいから、税ぜいについて関かん心しんが深ふかまりました。同どう時じに納税のうぜいの大たい切せつき、責せき任にんも深ふかまりました。これからの自じ分ぶんの為ため、お世話せわにななった親世代おやせだいへへの恩返おんがえしの為ため、そしてこれからを支ささえてくれる子こ供ども達たちの為ためにしつかり納税のうぜいしていきたいと思おもいます。

さいたまけんのおぜいちよちくくみあいそうれんごうかい
埼玉県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

あ まえ にちじょう
当たり前前の日常

はにゆうしりつみなみちゆうがっこう
羽生市立南中学校

にねん
二年 瀧口 あい梨

わたし わたし
私たちは、当たり前前のように学校へ行く。そして、勉強する。私たちのこの当たり前前には、税金から成り立っている。

がっこう こうしゃ たいいくかん つくえ いす ぜいきん つか
学校の校舎や体育館、机、椅子など税金が使われている物は山ほどある。私たちが当たり前前のように学校へ行っているのは、税金のおかげと言っても過言ではない。

せかい がっこう こ おおぜい
しかし、世界には、学校に行けない子どもたちが大勢いるとテレビ番組で見たことがある。理由として、教育費が払えないことが一つとして挙げられるらしい。

にほん こうりつちゆうがっこう せいとひとりあ ねんかんきょういくふたんがく
日本では、公立中学校の生徒一人当たりの年間教育負担額は約百五万二千円にも上る。私は税金によって、こんなにも負担が減っていると知り、とても驚いた。きっと国は、私た

みらい かのうせい しん せいひとりひとり べんきょう
ちの未来の可能性を信じ、生徒一人一人が勉強しやすい環境作りをしてきているのだと思う。SDGS（持続可能な開発目標）の四番目には、「質の高い教育をみんなに」という目標が掲げられている。日本では質の高い教育が税金によって支えられているのだと感じた。

わたし あ まえ がっこう かよ
私たちが当たり前前に学校に通うために、なくてはならない税金。国の税金の収入として最も多いのは消費税である。現在の消費税は十パーセント、または八パーセントである。

わたし ちゆうがくせい しょうひん こうにゆう さい ひとり のうぜいしや
私たちが中学生も商品を購入する際には、一人の納税者として税金を支払っている。正直、私は商品を買う時、税金がなかったらもっと安く買えるのに、と思うことがある。でも、私が支払っている消費税が、学校の備品などに使われて、よりよい学校生活を送れるなら、快く支払うことができる。

わたし あ まえ がっこう い
私たちが当たり前前に学校へ行くことができているのは、教育費が負担されているからだけではない。教育費以外の税金の使い道として道路の整備や信号の設備などにも使われている。

わたし あんぜん がっこう つうがく ぜいきん
私たちが安全に学校へ通学できているのも税金のおかげなのだ。税金があるから私たちは、舗装された道路を歩き、信号を確認して、毎日安全に通学できている。もし、税金がな

く、道路も整備されていない、信号がない通学路だったら、
交通事故が多発し、当たり前前に学校に通えないだろう。

私たちは現在、当たり前前のように学校へ通い、勉強している。しかし、その当たり前前は私たちが支払っている税金によって支えられている。私たちはこの当たり前前を次世代に受け継がなければならない。だから、私たちは当たり前前を守る責任がある。今まで守ってきたおかげで、私たちは学校へ通っている。税金、それは私たちの生活を豊かにする、なくてはならないものだ。

「いってきます。」

今日も元気にそう言った。整備された通学路を通り、学校へ向かう。そして、校舎へ入り自分の椅子に座って、机に教科書を広げる。放課後は体育館での部活動。これが私の当たり前前の日常。

さいたまけんのうぜいちよちくみあいそうれんごうかい
埼玉県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

あんしん しあわ
安心と幸せのバトン

はにゆうしりつみなみちゆうがっこう
羽生市立南中学校

さんねん
三年 齋藤 花蓮

ひとりあ 「二人当たり九十七万九千円」これは私たち中学生が一年間しっかりと勉強できる環境をつくるために使われている税金です。学校の校舎、体育館、プール、教室の机や椅子、黒板、新しい教科書、授業で使うタブレットや楽器、理科の実験道具、体育で使うボールまでも税金が使われています。私は本当に驚きました。こんなに大きな税金が私に使われているなんて考えてもいませんでした。買い物をするときにちよつと嫌だった消費税だけ、それとは比べ物にならない位、多額の税金を使っていました。小中高の十二年間に渡って、私たちが安心して勉強や部活に励めるのは税金の恩恵なのだ、税の大切さを初めてとても身近に感じました。私は税で生かされている、

ふだん あ まえ せいかつ のうぜいしや かたがた さき
普段の当たり前の生活が納税者の方々に支えられていることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

5 しんぶん きやういぐ う くに こども がっこうけんせつ
TV新聞で、教育を受けられない国の子供たちに学校建設や勉強道具を与えるための人道支援、寄付、義援金を呼び掛けているのをよく見ます。私も時々レジ横の募金箱に協力しています。とても意義のある行為だと思います。でも、税金も同じです。日本の子供たちに平等に教育の機会を与え、しかも、医療や介護福祉、子育て、生活支援、警察消防、災害復興、さらに海外支援と、納税することによってこれらすべての支援活動に参加できるなんて、こんなに意義のある行為は他にはないと思います。

いっぽう せんじつおこな さんぎいんせんきよ りつごうほしや なか しやうひぜい
一方で、先日行われた参議員選挙で、立候補者の中に、消費税は低所得者層に負担、あるいは景気回復の妨げになるので、「廃止」や「減税」を訴える人がいて驚きました。税収が減れば、それだけ社会保障が減り、特に子供、子育て世代、高齢者の生活は悪化するのではないのでしょうか。世論調査では、消費税を引き下げるべきではないが四十七パーセント、引き下げるべきが三十四パーセント、わからない・無回答が十九パーセントという結果だとNHKで報道されていました。やはり消費税の必要性を正しく理解している人が多くて安心しました。一方

で、知識や関心が希薄な人が十九パーセントもいることに危機感を覚えました。私もそうですが、税について知らないことが多すぎると感じます。納税が国民の義務であるならば、授業でもっと税金のことを詳しく教えて欲しいと思います。納税者になる前に税金の意義や仕組みを理解し、身近に感じたいと思います。

私もいずれは税を納める立場になります。これまで私を育ててくださった納税者の方々に恩返しをしなければならぬと考えています。また、自分が税で守られた環境を次の世代の子供たちにも同じように作りたいと思います。これまでも、そしてこれからも、持続可能な社会であり続けるために、税がもたらす安心を幸せのバトンをしっかりとつなげていきたいと思

はにゆうしちようしよう
羽生市長賞

意外と知らない車に関する税

はにゆうしりつにしちゆうがっこう
羽生市立西中学校

さんねん
三年 福田 孝喜

じどうしゃ げんざいわたし
自動車は現在私たちの生活に欠かせないものだ。買い物や習い
ごと りようごう つか
事、旅行など使われるときは沢山ある。私の父が大の車好きな
ので、父が車の話をしてしていると私も「車を持ちたい。」と羨
ましくなる。

べんり じどうしゃ めんきよ しゆとく
そんな便利な自動車の免許を取得できるのは十八歳以上、
こうこうさんねんせい
高校三年生からだそうだ。あと三、四年すれば取得できると思う
と近い気がして嬉しい。

むずか おも
しかし難しそうと思うこともある。運転技術は別として自動車
にかかると税金やその他整備費などお金に関してには不安しかない。
そこで車に関するお金事情を知ろうと思った。

きほんてき じどうしゃ
基本的に自動車には四つの税が課せられる。一年に一回
はいきりよう もと
排気量を基にして課せられる自動車税または軽自動車税、重さ
におう か
に応じて課せられる自動車重量税、環境に応じて課せられる
かんきようぜい こうにゆうじ しょうひぜい じゆつぱーせんと
環境税、そして購入時に消費税が一〇%かかる。また自動車
ぜい じどうしゃじゆうりようぜい こうにゆうご ほう
税と自動車重量税は購入後も払い続けなければならないな
くるまいちだいも
ど車一台持つのに相当のお金がかかっているのが分かる。

さら じどうしゃ にねん しゃけん ま
更に自動車には二年ごとに車検が待っている。工場や方法にも
いくつかの種類があるものの、どれも一万円以上はかかるから
たか
高い。そしてガソリンを補給するのも一リットルあたりの本体
かか
価格にガソリン税、石油石炭税などが加わって一回だけでも大
きな出費となる。

じどうしゃ かか ぜいきん なん ため つか
ところでこれら自動車に関わる税金は何の為に使われているの
だろう。例えば自動車税は都道府県に軽自動車税は市町村にそ
れぞれ課される。またガソリン税は国税や地方税の一般財源に
なる。これらは教育や医療、警察や消防などの公共サービ
スや公務員や議員の給与に使われている。他にも道路の舗装、
せいび どぼくひ つか
整備など土木費にも使われている。車に関することにあまり使
われないうのは不思議だが道路舗装など車の利便性が高まるこ
とに当てられるのはとても良いと思う。

さいきん
最近さいきんはガソリン車しやから電気自動車でんきじどうしや（EV）や燃料電池車ねんりようでんちしや（FCV）などのエコカーえこかーが注目ちゆうもくされ多くのCMおほで放映ほうえいされている。
これらは環境かんきように優しいやさだけでなく減税げんぜいや免税めんぜい、そして購入こうにゆうじ時に補助金ほじよきんが出るものもありどんどん形式けいしきが変わりつつある。

この先さきエコカーえこかーがガソリン車しやに代わかって主流しゆうりゆうになりそれに伴ともなって税ぜいの制度せいども変化へんかするかもしれない。車くるまに乗のることは責任せきにんもある。自動車じどうしやに関かかわる税ぜいの制度せいどは難むずかしいと感じかんじるが、免許めんきよがとれる十八歳じゆうはちさいの時ときまで首くびを長ながくして楽たのしみに待まとうと思おもう。

ぎょうだぜいむしょかんないのうぜいちちくくみあいれんごうかいちようしよう
行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞 銀賞

少子高齢化と将来への希望

はにゆうしりつひがしちゆうがっこう
羽生市立東中学校

にねん 二年 大谷 美葵

むらきみしようがっこう れいわななねん ほか がっこう へいごう
村君小学校は令和七年に他の学校と併合することになりました。
した。そのことを父と話していると父は、

いま 「今は、どこも少子高齢化が問題だね。」
いい、新聞を私に見せてくれました。新聞には「年金だけで
暮らすの不可能」と書かれました。私は、「少子高齢化」
と「年金」はどちらも大きく関係していると思ひ、調べることに
しました。

しょうしこうれいか しょうしこうれいか
まず少子高齢化とは、生まれてくる子供の数が減り、六十五
歳以上の高齢者の数が増えていくことを示します。高齢者が増
えることで年金や介護などに使うお金が多く、私たちの生活を

ささ 支えることが難しくなるのです。社会保障が全世代型になった
のも関係していると思ひます。私は、子どもの減少が働き
世代の減少に繋がり、税を納める人が少なくなっているのだと
思ひます。子どもが少なくなってしまう原因は、子育てがしや
すい環境がなかったり、結婚していない人が増えたり安定した
収入がなかったり、ニートや引きこもりの増加など様々な
問題があるからだと思ひます。

このことを考えたとき、私は自分の夢のことを思ひ出しま
した。私は将来、学校の先生になり、子ども達に大人になるこ
とへの夢と希望を与えたいと思ひています。そうすることで、子
どもはしっかりと働き、税を納め、家庭をもち、少子高齢化問題
を少しでも解決できるのではないかと思ひます。
年金は二十才から六十才まで払い続けます。受給できる
年齢は六十才からでしたが、六十五才からに引き上げられまし
た。新聞記事には「年金だけで暮らすのは難しい」と書いてあ
りました。受給できる年齢が引き上げられた上、年金だけでは
生活費が足りず働かなくてはいけない人が増え、不安定な生活
を行う人も少なくなっていくことでは思ひます。

高齢者を支えるのは私達です。だから、もつと若い世代の私たちが税を納めることを真剣に理解しなければいけないのだと思います。子どもだから関係ないのではなく、もつといろいろなことを問題視していかなければならないと思いました。増税をして、社会保障に当てたら良いと考えてみました。

このようなことから、少子高齢化と税は深い関わりがあり、消費税が増税したのは、私たちが安定出来る生活を造ろうと考えたものだと言うことが分かりました。私はお金に対して使うのをためらうことがよくあります。自分の未来のためにもお金を使い、経済を回していきたいです。私にとって税金は身近でも深く考えたことはない存在でした。ですが税金は必要であると感じました。私は、老後の安定した生活やみんなが安心して大人になり過ごせる社会を実現するため、みんなが考えていくことが大切だと思います。

ぎょうだぜいむしょかんないのうぜいちちくくみあいれんごうかいちようしよう
行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞 銀賞

税が差し伸べる手

はにゆうしりつひがしちゆうがっこう
羽生市立東中学校

さんねん
三年 吉田 直哉

どのようなことに税金を使い、どんな形で私たちの生活を支えているのか、僕はどれだけ知っているのだろうか。今、日本では「新型コロナウイルスの感染拡大」や「少子高齢化」等々の多くの問題をかかえ、日々積み重なるそれらの問題に対しての対策を迫られている。これらの問題は税金と深い関わりをもっている。

新型コロナウイルスの感染拡大において、特に僕が税金の使われ方の一つとして見たのは給付金だ。国民全員に支給された特別定額給付金をはじめとして、子育て世帯への給付や収入が水準以下となった事業者、時短営業などに協力した事業者に給付金や協力が支給された。それにより多くの

国民の生活の負担を軽減することになった。後に給付金は税金を使っているとわかった時、改めて税金の納める意味を知った。また、感染拡大させないようマスクを着用することになり、マスクの在庫がなくなりかけていることから国から布マスクが各家庭に配布された。配送などに約十億円使用し、在庫は八百万枚もある。配送料の約十億円で消毒液約百万個分、PCR検査約三万回できるので、その税金の使い方を慎重に話し合い、有効に税金を使い、今困っている人を助けるべきだと思う。そしてワクチン接種や、入院費や医療費、配食などのサービス、これら全てでも公費負担、つまり税金からまかなわれている。今回のことで、税金を納めることは快適に、便利に生活するということよりも、安心・安全、そして「命を守ることに直結している」と強く実感した。

また、日本が直面している長期的な問題は少子高齢化だ。医療や社会福祉が必要となる高齢者が増加し、生まれてくる子どもの数が減少している少子高齢化と、税金の関連性はとても大きい。現在、高齢者の社会保障や医療保障の費用を負担する働き手が減少し、一人ひとりの負担が年々重くなっている。

いま、今も、こうして教材を手に取り、中学校へ通い勉強が
こと、毎日安全に、便利に生活できること。これらは、税金
によって教育の施設や学習の環境が整えられたり、生活の
ための道路や病院などの公共機関が整備されているからだ。
いま、今はまだ社会人ではない学生の僕に出来ることは、税金の使
い道を学び、その意味と重要性を理解した上で、消費税を払う
ことだ。消費税が年々上がり、納税者の負担が増える一方だが、
それは今の日本の経済、これからの日本経済を支えるためだと
理解して、僕も国民の一人として税金を納めていきたい。

ぎょうだぜいむれんらくぎょうぎかいちようしよう
行田税務連絡協議会長賞 佳作

ぜいきん すく いのち
税金で救われる命

はにゆうしりつひがしちゆうがっこう
羽生市立東中学校

いちねん こじま ほのか
一年 小島 穂華

みなさんは税金のおかげでたくさんの命が救われていることを知っていますか？救急車や消防車は国民の税金のおかげで無料で利用することができています。

わたしは今までなんで物を買うたびに10%の税をはらわなければいけないのか、もっと安くてもいいのではないかと思っていました。でもこの一年で意識が変わった出来事がありました。

それは新型コロナウイルスです。私はコロナウイルスに感染してしまい熱を出してしまったことがあります。この時は家族も同時に感染していたので不安でいっぱいでした。でも病院に行くくと感染対策をしたお医者さん達が車の外からいてねいにし

ん察、検査をしてくださり、とても安心しました。しかも検査にはお金がかからないし、薬もコロナ患者には無料で提供してくれます。なぜ検査や薬などがすべて無料でもらえるのかが気になってお母さんにきいてみました。そしたら全て税金のおかげだということを教えてもらいました。もし、全部が自己負担だとしたら、家族で検査代、薬代を全員分はらわなければいけない事になります。薬がたりなくなってしまうたり、買えなくなったりしたら苦しんで、助かる命も助からなくなってしまうかもしれません。こう考えると税金は無駄ではなく、とても大切なものだ実感することができず。コロナ患者への補助はこれだけではありませんでした。家族の一人一人にパルスオキシメーターという酸素と脈をはかる機械が届いたのです。熱を出している時にパルスオキシメーターで簡単にはかることができます。れば、自分だけでなくまわりの人も安心することができます。酸素と脈、どちらかが少なくなったら病院に行くという目じるしにもなってお医者さんも少しは対応が楽になるかもしれません。

税金ときくとはじめはお金をむだにとられてしまう嫌なもの、というイメージのほうが強かったです。でもいざとなった時には救急車を無料でよぶことができたり、薬を必要な分だけ

提供ていきょうしてもらえたり、パルスオキシメーターという命いのちを救すくつてくれる機械きかいを無料むりょうで貸かし出だしてくれたりといろいろな場面ばめんでたすけてもらうことができます。私わたしは自分じぶんがふだん、なにげないものを買かって、ほかの国民こくみんのやくにたつことができる税金ぜいきんの制度せいどはとてもいいと思います。なのでこれから大人おとなになって働はたらくようになったらしつかりと税金ぜいきんをおさめて少しすこでも人ひとのやくにたてたらいなと思おもいました。